

3 授業実践  
 (1) 小学校 2 年生の授業実践①

1 主題名 「自分らしく」 (A-4【個性の伸長】)

2 教材名 「ありがとう りょうたさん」(東京書籍)

3 教材について

本教材は、主人公のりょうたとその友達のゆきおの個性が際立つように書かれている。時間が掛かるが、丁寧に真面目なりょうた。あわてんぼうだが、スポーツが得意なゆきお。2人がそれぞれ活躍する場面と苦手になっている場面があり、どちらにもよさを感じられるように書かれている。また、2人は互いの苦手なところをカバーし合うような友達関係を築いていることが分かる教材である。

4 ねらい

自己の長所を、才能やもっているものの多さとしてではなく、人としてのよさとして幅広く捉えさせ、友達と共に自己の長所を伸ばしていこうとする意欲を育てる。

5 展開



は「協働的な学び」における発問や手立て

過程	学習活動 ◆主な手立て	_____は基本発問
導入	<p>1 対義語を基に長所に対する自己の考え方を明らかにする。</p> <p>◆挙手で、自分の今の気持ちを表出させた。</p>	<p>T どちらがいいですか。</p> <p>C 速い方…11人 遅い方…15人</p> <p>C 多い方…9人 少ない方…17人</p> <p>C 何が多いか分からない。</p> <p>C 上手…18人 下手…5人</p> 
展開	<p>2 教材「ありがとう、りょうたさん」を読み、話し合う。</p> <p>◆先に2人の登場人物の簡単な特徴を説明した。</p>	<p>T 今日は「人としてのよさ」について考えていきます。</p> <p>T <u>では、もう1つ同じような質問をします。どっちが活躍しそうですか。</u></p> <p>C スポーツが得意な人…17人</p> <p>C 大人しい人…7人</p> <p>T 大人しい人が活躍しそうと思った人たちは、理由を教えてください。</p> <p>C うるさかったら嫌だから。</p> <p>C 大人しくなかったら怒られそう。</p> <p>T スポーツが得意な人は、暴れそうってこと？</p> <p>C ちがう。そうじゃない。</p> <p>T ううん。人のよさって難しそうね。</p> <p>T そこで、お話を読んで、みんなで『人のよさ』ってどんなのがあるかな。」って考えていきましょう。</p>

◆どちらにもよさがあるが、欠点として見られがちな面をクローズアップして板書した。

(1) ゆきおのいいところについて話し合う。



(2) りょうたのいいところについて話し合う。



T あわてんぼうのゆきおさん。だけど、いいところがあったね。どんなところ？

C ドッジボールでりょうたさんを守ってあげたところ。

C あいさつをきちんとするところ。

C 友達を応援しているところ。

T 先生は、ゆきおさんのことをあわてんぼうって紹介したけど、どうですか？

C だけど、いいところがいっぱいある。

C あわてんぼうってあんまり気にならなかった。

T なるほど。じゃあ、お姉ちゃんに「早くして！」って言われるりょうたさんは、いいところあるかな？

C めっちゃある。

C 夜にちゃんとチェックしているところ。

C ゆきおさんがなくしたものを、見付けてあげたところ。

C ゆっくりで、ていねいなところ。

C きちんと整理できるところ。

C 友達と協力したところ。

T りょうたさんは、よく「早くして！」って言われるんだよね。どうして？

C ゆっくりだから。

C みんなを待たせるから。

T おかしくないですか？みんなは、りょうたさんのいいところで「ゆっくり」を挙げているのに、「ゆっくり」なせいでりょうたさんは注意されるんでしょう？

C いや、準備とかは速い方がいいんだけど、ほかはゆっくりでもいい。

C ゆっくりしすぎると、迷惑を掛けちゃう。

T 最初に、「早い方がいい」って言った人たちは、「ゆっくり」だと駄目なんじゃないの？

C 早い方がいいんだけど…。

C 焦ったら駄目。

T なるほど、「早い」ということは「焦る」ということでもあるんですね。じゃあ、「遅い」とってというのは？

C ゆっくりで、丁寧。

T なるほど、「遅い」というのは「丁寧」ということでもある



(3) 自分や友達の長所の見付け合いをする。

◆当てはまる友達を想像させながら、キーワードになる言葉を板書した。



んですね。では、みんなにもう一度質問です。「焦っている」と「丁寧」ではどちらがいいですか？

C 焦っている…0人      丁寧…26人

T さっきとは、全然違う結果になりましたよ。同じようなことなのに、見方が変わるとこんなにはっきり分かれるんですね。

T では、お話に戻ります。りょうたさんは、どうしてゆきおさんの持ってきたものを見付けることができたの？

C ゆっくり丁寧にしているから。

C きちんと整理整頓してあげたから。

T でも、いつも怒られてばかりいたら、「自分には無理」って思っちゃうんじゃない？そんなふうに思っているけど、探せるのかな？

C できない。

C 無理。

T どうして？

C 何にもできなくなるから。

C 怒られているから、何もできないと思っちゃう。

T りょうたさんは、そう思ってたの？

C いや違う。

T どう思っていたの？

C ちゃんとやらないといけない。

C 友達だから、役に立ちたい。

T 友達のことも考えて頑張ったんですね。

T ゆきおさんにも、りょうたさんにもいいところがたくさんありました。では、この学級の友達にはどうでしょう？

T こんな友達はいませんか？勇気があると思う友達。優しいと思う友達。こつこつ頑張っていると思う友達。正直だと思う友達。えこひいきしない友達。テキパキ動く友達。やる気があると思う友達。人をよく喜ばせる友達。

C いるいる。

C □□ちゃん。

T まず、自分のいいところを見付けますよ。自分の名前を赤色の付箋紙に書いて、自分が当てはまると思うところに貼りましょう。

自己の考えを可視化させる手立て



T 次は、友達のいいところを見つけてますよ。当てはまると思いう友達の名前を黄色の付箋紙に書きます。書いたら、班の人とその友達に、「△△島に貼るよ。それはね・・・」って紹介してくださいね。どうしてそう思ったかを、必ず友達に伝えてね。書いてもらった友達は、「ありがとう」って伝えましょうね。

児童生徒の対話を深めさせる手立てや発問

◆やり方をしっかり理解させるため、グループの中で一度伝え合いを行わせた。

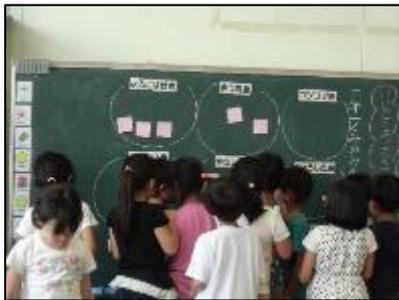
T グループの中で、自分が貼りたい友達の名前と島の名前を紹介しましょう。

いつも一緒に遊んでくれるから。

□□さんをやさしさ島に貼ります。

わたしも島は同じけど、違う人を貼る。

どうして？



T 1回、グループの人に伝えたら、グループを離れてどンドン友達のいいところを見つけて、本人に伝えに行きましょう。

うれしいです。ありがとう。

□□さん、楽しいことをたくさん言ってくれるので、喜ばせ島に貼ります。



◆交流に参加できない児童には、教師が付箋紙をあげるようにした

◆付箋紙をたくさん貼ることに目が向いている児童には、理由を尋ねるようにした。

C もう4人に伝えたよ。

T どんなことを伝えたの？

C □□さんに、「コツコツ島にはるよ」って。

T どうして、コツコツ島だと思ったの。

C いつもたくさんがんばっているから。

児童生徒の対話を深めさせる手立てや発問



T たくさん友達のいいところが見つかりましたね。みんな、すごいね。

終末		<p>T 友達といいところの見付け合いをして、どんなことに気付きましたか。</p> <p>C みんなにはたくさんいいところがある。</p> <p>C 自分が思っていなかったところを言ってもらって、嬉しかった。</p> <p>C たくさん見付けることができた。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自己を問い直させる発問や、これからをイメージさせる手立て</p> <p>T ここにみんなの名前がたくさんあります。自分のよさに気付くことができた人も多いと思います。新しく気付いたことも、自分が思っていたことも、どちらもこれから大事にしていけたら素敵だなと思います。</p>
----	---	--

6 授業のまとめ

(児童のワークシート例①)

## ありがとう りょうたさん

2ねん くみ なまえ

1. じぶん と ともだちの いいところ見つけを しよう。

8つのしまに あてはまる人を かんがえよう。

やさしさ島 うん	やる気島 うん	ゆうき島 うん	しょうじき島 うん
コツコツ島 うん	てきぱき島 うん	バランス島 うん	よろこばせ島 うん

あかいろのふせんし・・・じぶんの なまえ  
 きいろのふせんし・・・ともだちの なまえ  
 紫ふせんしに なまえを かいたら こくばんに はるまゑに はんの  
 ともだちに しょうかいを しましょう。

2. じぶんや ともだちの いいところ見つけを して きづいたことや おもったことを かきましょう。

さんかちプールのとき ゆう  
きをたしてボードで かん  
ばんってなねこいわれたので  
かんばってよかったなと思  
ました それはみつけたら、たんとすね  
 さんは、ゆうまが あるんですね

(児童のワークシート例②)

## ありがとう りょうたさん

2ねん くみ なまえ

1. じぶん と ともだちの いいところ見つけを しよう。

8つのしまに あてはまる人を かんがえよう。

やさしさ島 うん	やる気島 うん	ゆうき島 うん	しょうじき島 うん
コツコツ島 うん	てきぱき島 うん	バランス島 うん	よろこばせ島 うん

あかいろのふせんし・・・じぶんの なまえ  
 きいろのふせんし・・・ともだちの なまえ  
 紫ふせんしに なまえを かいたら こくばんに はるまゑに はんの  
 ともだちに しょうかいを しましょう。

2. じぶんや ともだちの いいところ見つけを して きづいたことや おもったことを かきましょう。 いいところ、みんなにあるからね！  
 ちゃんと見つけよう！

しゅぼくしに うん にかいて うん にかいて  
て した うん ちを うん たくさん  
うん くらう うん した  
うん かな うん うん うん うん  
うん うん うん うん うん うん

友達から気付かされて、改めて自分のよさを感じている児童の記述。「プールするとき勇気を出してボードで頑張ってたね」という友達の言葉を受けて、「がんばってよかった」と答えている。友達の発言を好意的に受け取り、自分の中に取り入れていることがうかがえる。

学級全体のよさに気付いている児童の記述。小さい部分には「いっぱい、いいところがあって、友達をたくさんつくろうと思った」という記述がある。自分と友達との関係性に視野を広げ、自分の在り方を見つめ直していることがうかがえる。

○視点Ⅰ「児童は多面的・多角的に価値を捉え直していたか」について

展開前段では、登場人物を分析的に考えさせることで、「人のよさ」について長所からだけでなく、様々な特徴からも捉えられるように配慮しました。また、よさを見つけたとしても低学年にとって適切な言葉で表すことは難しいと考え、前もってよさを表す言葉を伝え、黒板に残すようにしました。

その結果、互いの「よさ見付け」の中で児童全員が自分のよさを見付け、友達からよさを見付けてもらう経験をすることができました。自分が気付かなかったところや、過去に行ったよい行動からよさを友達が見付けてくれて、改めて自己のよさを感じている児童が多くいました。

○視点Ⅱ「児童は自己のこれまでの価値理解を修正したり、強化したりできたか」について

ワークシートに、友達から自分のよさを見付けてもらった喜びや、自分では気付いていなかったという発見を述べている児童が 11 人(44%)いました。また、みんなで見付けた付箋紙の数やばらつきを見て、学級のよさやそれぞれの友達のよさを感じ、自分も友達ともっと仲良くしていきたいという意欲をもつ児童が別に 5 人(20%)いました。